

文化芸術で 人と地域が 輝く福井へ

福井県では、文化芸術の力で県民一人ひとりが多様な幸せ（ウェルビーイング）を実感できる社会を実現するため、今後の文化芸術振興の方向性などをまとめたプランを策定中です。

(※概要は裏面参照)

今回のシンポジウムは、プランの策定に向け、文化芸術を活かした地域づくりについて皆さんと一緒に考えることを目的としています。

この機会にぜひ、皆さんの声をお聞かせください。

Program

第1部 報告

「福井県文化振興プラン (仮称)」について

説明者 | 福井県交流文化部文化・スポーツ局文化課

第2部 ゲストスピーチ

アートとデザインと地域と

登壇者 | ^{やましげ てつお}山重 徹夫 氏

中之条ビエンナーレ総合ディレクター



広島県生まれ。2006年、群馬県から芸術文化を発信することを目的に立ち上げた国際現代芸術祭「中之条ビエンナーレ」は、毎回40万人の来場者を集める一大イベントに成長。現在は総合的な地域ブランディングや海外芸術交流をはじめとするアートプロジェクトや海外の美術館で展示会の企画など、各地で文化振興事業を行っている。

第3部 トークセッション

地域とアートの幸せな関係

司会進行 | ^{あさくら ゆき}朝倉 由希 氏 公立小松大学 准教授



福井市出身。文化政策、アートマネジメント研究者。国の文化政策の調査研究に携わるほか、福井県、群馬県、越前市、八戸市、小松市など複数の自治体で文化に関する審議会委員を務める。2017～2021年度文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授「福井県文化振興プラン」策定委員会 委員長

登壇者1 | ^{みなと しちお}湊 七雄 氏 福井大学 教授



三重県出身。美術作家、福井大学教育学部教授、E&Cアートベース代表理事。絵画と版画を専門とし、環境や身体に優しい素材を用いた環境対応型技法の研究に取り組むほか、美術作家として国内外で作品を発表。アートディレクターとしてはこれまで80を超える展示会等の企画に携わっている。「福井県文化振興プラン」策定委員会委員

登壇者2 | 山重 徹夫 氏

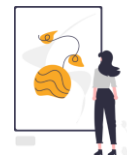


2024

1/20 (土)

13:00～15:00

参加
無料



福井県生活学習館 多目的ホール

福井市下六条町 14-1

ライブ配信あり・手話通訳あり

要参加申込み (締切: 1/13(土))

会場参加、オンライン視聴ともに
事前のお申込が必要です

右のQRコードから
またはメールで以下の情報をお知らせください。



- 参加希望者のお名前
 - 電話番号
 - メールアドレス
 - 希望する参加形態
(会場参加 または オンライン視聴)
- ※会場参加: 先着 100名

✉ bunka@pref.fukui.lg.jp

問合せ先 |

福井県交流文化部
文化・スポーツ局文化課
TEL 0776-20-0582



これまでの検討の中で作成した「福井県文化振興プラン（仮称）」の概要をご紹介します

福井県 文化振興プラン の概要

（仮称）

福井県の課題

○文化芸術に関する県民意識の向上

地域の文化的環境に対する満足度が低く、自ら文化芸術活動を実践している人が少ない状況です。

- ・地域の文化的環境に満足している割合 34.3%
- ・過去1年間に何らかの文化芸術活動（鑑賞以外）を実践・支援した割合22.3%

○文化の担い手不足の解消

人口減少・少子高齢に伴い、祭りや伝統芸能をはじめ地域の文化の担い手が不足しています。

- ・人口減少、少子高齢の進行（2020年76.7万人→2040年64.7万人）
- ・文化団体の高齢化・会員減少による活動継続が困難に（R4文化団体へのアンケートの結果：10年前より活動者数が減少した割合88.3%）

○文化施設の役割の拡大

博物館数や県民向け講座数、図書館の個人貸出数等は全国トップクラスであり、知的好奇心が高い県民性とそれを支える環境が整っているものの、人口減少・少子高齢が進み、社会環境が急激に変化していく中で、文化施設もそれらに対応し、地域の課題解決に寄与していく必要があります。

○福井の文化の創造と発信

大交流時代に対応するため、創造性をもって福井の文化の価値を高め、世界に発信していく必要があります。

- ・北陸新幹線の開通、中部縦貫自動車道の県内全線開通など、都市圏との利便性が向上する一方で、地域間競争が激化
- ・外国人宿泊者数 全国33位

推進体制

県は、文化施設、市町、（公財）福井県文化振興事業団、各分野の文化団体など様々な主体と連携を図り、それぞれと課題を共有・協働しながら、文化振興施策を総合的・効果的に推進します。

また、文化施設の機能を拡充し（連携・協働を推進するプラットフォーム機能、地域の文化に関する調査・研究機能）、文化施設を核とした文化芸術の一層の活用を推進します。

趣旨

本県の今後の文化振興の方向性および重点施策等を取りまとめ、県内活動者や関係機関、市町などと協働しながら総合的・計画的に推進することにより、県民の文化力向上とウェルビーイングの実現につなげます。

計画期間

令和6(2024)年度～令和10(2028)年度

みんなで創る 文化でつながる 人と地域が輝くふくい

基本理念

悠久の歴史に育まれた暮らしや風土、豊かな自然環境を活かしながら、文化芸術に触れ、楽しみ、自ら創造・発信する県民の主体的な活動をおうえんすることにより、県民のウェルビーイングと地域の活力が相乗的に高まり、好循環を創出する社会を目指します。

目指す姿1



誰もが文化芸術と触れ合い、
自ら参加・創造し、
心豊かに暮らす福井

- ① 県民主体の活動の振興
- ② 県民全ての表現・参加機会の拡大

目指す姿2



みんなで地域の文化を守り、
育て、未来へ引き継ぐ福井

- ③ 文化芸術を振興する次世代の育成
- ④ 地域の文化の振興
- ⑤ 文化芸術を活用した地域社会の再生と創造

目指す姿3



文化芸術の新たな価値を
創造・発信し、県民と訪れる人が
ともに楽しむ福井

- ⑥ 文化芸術による交流機会の拡大
- ⑦ 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化

※県文化課のホームページでは、
これまでに開催したプラン
策定委員会の資料等を
ご覧いただけます。

福井県 文化振興プラン 検索

